

※本資料は、平成 28 年度用「新しい書写」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。なお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。また、次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

グレー部分：学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動

<b>1 年</b>	<b>学習指導要領</b> [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (2)	ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
------------	---	---

単元名	単元の目標 (◎=主目標)	時数	配分	学習活動	評価項目 ◎=重点評価項目 (関)=関心・意欲・態度 (知)=知識・理解 (技)=技能
学習のはじめに姿勢・筆記具の持ち方 P4-6 用具：毛筆・硬筆	○中学校書写で学習することの見通しを立てる。 ◎文字を書くときの姿勢・執筆法, 用具の扱い方を確認する。 ○準備や後かたづけの方法を確認する。	1	0.5	1 教科書の目次や P2-3 などを使用し、中学校書写での学習の概要をつかむ。	○中学校書写で学習に意欲的に取り組もうとしている。(関)
			0.5	2 小学校での学習を想起し、毛筆と硬筆それぞれの姿勢や持ち方について確認する。 3 準備や後かたづけの方法について確認する。 ※姿勢や持ち方については毎時確認する。	◎毛筆や硬筆の姿勢・持ち方について理解している。(知) ○準備や後かたづけの方法を確認しようとしている。(関)

<p>1 楷書 ①点画の書き方と字形 P8-13  用具:毛筆「大志」 「新風」・硬筆</p>	<p>◎楷書の点画の書き方と字形の整え方、配列を確認する。 ○硬筆で、小学校で学習した楷書の基礎・基本を確認する。 ◎毛筆で、楷書の点画や字形の整え方、組み立て方を確認する。</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>1 教科書 P8 の①と②の硬筆の文言を比べて、違いを発見する。 2 楷書の文字の整え方や配列についてまとめる。 3 毛筆や硬筆で、「大志」や「新風」を書く。 4 教科書 P12-13「楷書の基本点画」で、楷書の基本点画を確認する。 5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎硬筆の楷書の文言が整わない理由を指摘している。(知) ○硬筆で、楷書の点画や配列に気をつけて文言を書いている。(技) ○毛筆で、楷書の基本点画を整えて書いている。(技)</p>
<p>②楷書に調和する仮名 P14-15  用具:毛筆(小筆) 「五十音」・硬筆</p>	<p>◎楷書に調和する平仮名の筆使いや字形の特徴を理解する。 ○楷書に調和する片仮名の筆使いや字形の特徴を理解する。</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>1 五十音表を見て、楷書に調和する平仮名の特徴を発見する。 2 小筆や鉛筆で、楷書に調和する平仮名を書く。 3 小筆や鉛筆で、楷書に調和する片仮名を書く。 4 小筆や鉛筆で、好きな言葉を平仮名や片仮名で書く。 5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎楷書に調和する平仮名や片仮名を整えて書いている。(技) ○好きな言葉を平仮名や片仮名で書こうとしている。(関)</p>
<p>③配列 P16-18  用具:毛筆(小筆・筆)【俳句】・硬筆</p>	<p>◎漢字と仮名の大きさの違いについて理解する。 ○余白や字間・行間、行の中心に気をつけて書く。</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>1 教科書 P16「明るい心」を比べて、漢字と仮名の大きさの違いを確認する。 2 小筆で俳句を書いて、配列のポイントを確認する。 3 毛筆で、「美しい緑」を書く。 4 漢字の許容の形について説明する。 5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎漢字と仮名の大きさの整え方を理解している。(知) ○配列を整えて文言を書いている。(技)</p>
<p>④配列(硬筆) P19-20  用具:硬筆</p>	<p>◎文字の大きさや行の整え方について</p>	<p>1</p>	<p>0.1  0.3</p>	<p>1 教科書を折って、P20の活字だけを見て、硬筆で文章を書く。  2 教科書を開き、自分の書いた文章と教科書の手書きの文章を比べる。 3 教科書の手書きの文章を見て、ノートに書く。</p>	<p>◎文字の大きさや行の整え方につ</p>

	<p>理解する。</p> <p>◎横書きの2種類の行の整え方を理解し、行を整えて書く。</p> <p>○数字やアルファベットの書き方を確認する。</p>		<p>0.4</p> <p>4 硬筆で、横書きの文章を書く。</p> <p>5 横書きの際の数字やアルファベットの書き方を確認する。</p>	<p>0.2</p> <p>6 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>いて理解している。(知)</p> <p>◎横書きの2種類の行の整え方に従って書いている。(技)</p> <p>○数字やアルファベットを積極的に書こうとしている。(関)</p>
<p>【生活に広げよう】</p> <p>目標を書こう</p> <p>P26-27</p> <p>用具：硬筆</p>	<p>◎目的や用途に合わせて、字形や文字の大きさ、字間や行間を考えて書く。</p> <p>○適切な筆記具を選んで書く。</p>	1	<p>0.5</p> <p>1 書きたい言葉を選ぶ。</p> <p>2 用紙を選び、配列を確認する。</p> <p>3 筆記具を選ぶ。</p> <p>4 配列に気をつけながら下書きをする。</p>	<p>0.5</p> <p>5 まとめ書きをして鑑賞し合う。</p> <p>6 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎目的や用途に合わせて、適切な字形や文字の大きさ、字間や行間で書いている。(技)</p> <p>○適切な筆記具を選んで書こうとしている。(関)</p>
<p>2 行書</p> <p>① 行書の基本的な書き方</p> <p>P28-33</p> <p>用具：毛筆「大洋」・硬筆</p>	<p>◎行書の基本的な4つの動きを理解する。</p> <p>◎行書の基本的な5つの形の特徴を理解する。</p> <p>○毛筆や硬筆で、動きのパターンと形の特徴(点画の連続と変化)に気をつけて書く。</p>	3	<p>3</p> <p>1 書体の変遷や歴史について学習する。</p> <p>2 「二・十・口・人」の4つの行書の動きのパターンを理解し、練習する。</p> <p>3 「大洋」を、動きのパターンと形の特徴から分析する。</p> <p>4 毛筆で「大洋」を書き、動きのパターンや形の特徴を確認する。</p> <p>5 学習した内容を、硬筆でほかの文字に広げる。</p> <p>6 自己評価・相互評価をする。</p>		<p>◎行書の基本的な4つの動きや、5つの形の特徴を理解している。(知)</p> <p>◎行書の動きのパターンと形の特徴を意識して書いている。(技)</p> <p>○行書の動きのパターンと形の特徴を、ほかの文字にも広げて書こうとしている。(関)</p>

<p>②点画の連続と省略 P34-35</p> <p>用具：毛筆「和音」・硬筆</p>	<p>◎行書の基本的な4つの動きを理解する。</p> <p>◎点画の連続や省略に気をつけて書く。</p> <p>○学習したことをほかの文字に広げて書く。</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>1「和音」に4つの動きのパターンのどれが当てはまるか考える。</p> <p>2楷書と行書を比べて、形の特徴を発見する。</p> <p>3毛筆で「和音」を書き、動きのパターンや形の特徴を確認する。</p> <p>4学習したことを、硬筆でほかの文字に応用する。</p> <p>5自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎行書の動きのパターンを理解している。(知)</p> <p>◎点画の連続や省略に気をつけて書いている。(技)</p> <p>○学習したことをほかの文字に広げて書こうとしている。(関)</p>
<p>【生活に広げよう】 年賀状を書こう P37-39</p> <p>用具：毛筆「和音」・硬筆</p>	<p>◎文字の大きさや配列に気をつけて書く。</p> <p>○学習したことを生活に広げる態度を養う。</p>	<p>1</p>	<p>0.3</p>	<p>1年賀状の表書きの書式や裏に書く言葉について確認する。</p> <p>2行書での住所の書き方を確認する。</p> <p>3名前の書き方を確認する。</p> <p>0.5 4年賀状を書く。</p> <p>0.2 5自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎文字の大きさや配列に気をつけて書いている。(技)</p> <p>○学習したことを年賀状に広げて書こうとしている。(関)</p>
<p>【生活に広げよう】 書き初めをしよう 巻末折り込み</p> <p>用具：毛筆(筆・小筆)</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書く。</p>	<p>2</p>	<p>0.1</p>	<p>1書き初めの意義や心構えについて確かめる。</p> <p>1.7 2字形や筆使い、文字の大きさ、配列、名前の位置などに注意して、毛筆で「夢の実現」や「温故知新」を書く。</p> <p>0.2 3自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書いている。(技)</p>

<p>3 生活を豊かにする文字 職場訪問をしよう P42-45 用具：硬筆</p>	<p>◎これまでの学習を生かして、封筒や便箋に硬筆で書く。 ○箇条書きの書き方を理解する。 ○原稿用紙の書き方を理解する。 ◎学習したことを生活に広げる。</p>	2	0.2	1 「職場訪問」という設定で、書写で学習したことが生かされる場面について確認する。	<p>◎これまでの学習を生かして、封筒や便箋に硬筆で書いている。(技) ○箇条書きの書き方を理解している。(知) ○原稿用紙の書き方を理解している。(知) ◎学習したことを生活に広げようとしている。(関)</p>
			1	2 既習事項を生かして、封筒や便箋に硬筆で書く。	
			0.8	3 箇条書きの書き方を確認する。 4 原稿用紙の書き方や、推敲や校正に使う記号について確認する。 5 自己評価・相互評価をする。 ※この教材は、他教科や総合学習などと関連させて扱ってもよい。	
<p>書いて味わおう 「竹取物語」 P46 用具：硬筆</p>	<p>◎1年の学習を生かして、古典教材を硬筆で書く。 ○書くことで古典のよさを味わう。</p>	1	0.1	1 国語の授業で学習した「竹取物語」を思い出す。	<p>◎1年で学習したことを生かして硬筆で書いている。(技) ○書くことの楽しさを味わおうとしている。(関)</p>
			0.7	2 「竹取物語」を硬筆で書く。	
			0.2	3 書いた感想を伝え合う。	